

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・担当制(1年ごとに変更)であるので、支援が一貫性を持って進められる	・担当制であるため、信頼関係の構築が早期にできます。また、支援を段階的に進めることができます。	・本人の状態からプリント課題と具体物の支援を見極めて、使い分けていけるようにすると共に、支援者も利用者も楽しい時間になるように工夫していきます。
2	・ビジョントレーニングを取り入れている	・学習支援、ソーシャルスキルトレーニング(SST)の時間に、意識的に眼を使って遊ぶ内容を取り込んでいます。	・ビジョントレーニングを意識した取り組みの内容を検討し、年間のカリキュラムを作り、クラスに合わせてカスタマイズしながら進めていきます。
3	・外出支援を取り入れている	・施設の向かいにコンビニがあり、近くに総合ディスカウントストアがあるので、実際の経験値を積むことが出来ます。	・行き慣れた場所ばかりではなく、初めての場所での行動を学ぶなどの経験ができるように計画を立てていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設が2階の為、玄関を開けてすぐ階段があり、降りても前がすぐに道路になっている	・施設が2階にあります。	・施設の構造を変えることはできませんが、手すりに網を設けたり、滑り止めをつけたり、登ったところはシートで覆って柵に登らないように工夫しています。さらに、定期的に点検を行い、安全を確保していきます。
2	・待機児童が多い	・利用を希望して頂いても、待機待ちになり何年も待って頂いている状態です。	・継続利用最大年数を3年とすることで、待機児童の待機年数を短くできるようにしていきます。
3	・支援室が狭い	・建物の構造上スペースが狭いです。	・使う道具や課題設定を工夫することで運動の提供もしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日 2026年 3月 2日

利用児童数 70

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3			・体を動かして活動するには狭い印象です。 ・激しい動きになってきたときに狭いと思う。	・施設の構造上広さを変えることはできませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応していきます。また、活動内容に合わせて1Fを使用していくことも検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3		1	事業所内は大丈夫ですが、そこに行くまでの外階段が小さいおさんは危なく感じます。雨の日とか傘さしながら滑りそうで怖いです。	・ご心配、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。施設の構造上、また強風が吹く立地の都合上、手すりの高さを確保することが困難となっております。階段の手すりに網を取り付けたり、登りきったところに風を通しやすい布をつけたりして安全の確保をしています。今後も点検をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			特性に応じた支援はなされているがOT、PTの配置が少なく専門性のある支援に繋がっているのが不明瞭	・引き続き保護者の方と合意形成を図り、お子さまの段階に合わせた支援を行っていきます。 ・研修に参加し専門性の向上に努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				1	・保護者の方と合意形成を図り、お子さまの段階に合わせた支援設定を行っていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				1	・引き続き、職員間で話し合い遊びや課題を創意工夫していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	5	7	2		・地域ではありませんが、外出支援を行ったり外部のお知らせを貼り出したりしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	1	5	・一度参加しました。このような機会が沢山増えれば良いなと思いました。 ・一度参加しました。今後このような機会が増える事を願っています。	・イベント裏や長期休暇中の勉強会や茶話会の実施を検討しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	5	3	現状特に必要だと感じませんのでなくていいと思います。	・イベント裏や長期休暇中の勉強会や茶話会の実施を検討しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1		・契約の時に説明させていただいています。その都度、面談の実施、もしくは面談の予定を入れるなど、迅速に対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		4		・インスタグラムへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		・鍵のかかる場所で保存しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		1		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示していますが、掲示方法を検討しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		4		・計画を立てて訓練しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			2	施設に入る際に外階段があり、登った所の柵の所に「乗り越えない×」という張り紙はあるが、万が一そこを乗り越えて落ちてしまうと命に関わる重大な事故になるところがあり、子どもでも乗り越えようと思えば乗り越えられると思われる高さでいつもヒヤヒヤする。現に自分の子が柵に手をかけ乗り越出すような事もあったと聞いた。もう少し高い柵にするとか、対策をいただいてもいいのかなあとと思うが、当初から変わっていない。	・ご心配、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。施設の構造上、また強風が吹く立地の都合上、手すりの高さを確保することが困難となっております。階段の手すりに網を取り付けたり、登りきったところに風を通しやすい布をつけたりして安全の確保をしています。今後も点検をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			5		・事故等あった際は、状況説明を含めすぐに連絡させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2				・支援の工夫を職員間で話し合い、向上していけるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					・何か不明な点がありましたら、いつでもご相談下さい。また、質の向上をしていけるように努めています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合	公表日	2026年 3月 2日
------	--------------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースで、大型遊具もない環境の中でもスタッフ間で意見やアイデアを出し合い、支援を実施しています。 ・年齢が大きい利用児にとっては、建物の構造上スペースが狭い部分があります。しかし、使う道具や課題設定を工夫することで汗が出るほどの運動を提供していると思います。 ・集団6人に対しては狭いと感じられます。 ・人数が多い時は机を室外に出すなどの方法をおこなっています。 ・活動内容によっては、戸外での活動を取り入れています。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一階での支援など指導員全員が事務所にいない状態もある為、配置数はもう少し多い方が良いと感じます。 ・スタッフ同士でフォローし合いながら事業所運営をしています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・階段のみ急傾斜となっており危険性はありますが、それ以外はなるべくバリアフリーに配慮しています。 ・設備の都合上バリアフリー化は難しいですが、入ってはいけない場所等が視覚化されています。 ・外階段が雨の日に危ないと思います。 ・施設が2階の為階段があります。施設の構造上、また強風が吹く立地の都合上手すりの高さを確保することが困難なため、階段の手すりに網を取り付けたり、登りきったところに風を通しやすい布をつけたりして安全の確保をしています。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に毎日清掃を行っており、支援後も状況に応じて消毒や換気を実施しています。 ・ほぼ毎日、掃除を行っています。 ・施設の窓はすべて少し開けて換気をしています。必要に応じてアルコール消毒をしています。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個室が2部屋ある為、状況に応じて使用を促しています。 ・個室があるため、支援内容や本人の状態などによって利用できるようになっています。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りや支援内容確認などは、全員参加できるように日程の確保に努めています。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートなどを通して把握しています。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを開催しており、各スタッフが意見をアウトプットできるようにしています。 ・定期的にミーティングを実施しています。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による介入はありません。 ・第三者による外部評価は実施していません。 	

	10	職員員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・頻度は多くないが、空き時間を利用して活動のアイデアを出し合う、症例検討を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。 ・5領域プログラムの公表はされています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・半年に1回必ず保護者とのアセスメントを実施し、家庭・学校生活の実情を把握した上で、合意目標・支援方針・支援方法を計画しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・作成する際は、児童発達支援と参加できるスタッフ全員で担当者会議を行い、支援を共通理解できるように検討を行なっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画会議を実施していますが、参加できていないスタッフへの情報共有は不十分であると思われる為、共有方法を見直していきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・インフォーマルなアセスメントとしてはミーティングの時などで確認はできますが、フォーマルな形式としてのアセスメントは共有できていないことが多いです。 ・適応行動の状況を把握するための標準化アセスメントツールを用いて評価は実施できていません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子どもの困り感などに応じて作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・頻回ではありませんが、定期的に職員間で活動プログラム立案のための勉強会を開催しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・頻回ではありませんが定期的に職員間で活動プログラム立案のための勉強会を開催し、活動が固定化されないようアイデアを出し合うよう努めています。 ・集団枠はイベントをしています。 ・必要であれば、外出支援（買い物、食事等）もしています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その日の状態に応じていつものクラスで参加できるかを確認し、プログラムの内容を伝えることで見通しをもってもらい、どのように過ごすかをお子様と一緒に考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・担当の職員間では頻回に確認を行っていますが、職員全員で共有する機会は少ない為、勉強会や事例検討会を定期開催していきます。 ・集団のみだと思えます。 ・十分に打ち合わせができない時があります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・担当の職員間では頻回に確認を行っていますが、職員全員で共有する機会は少ない為、勉強会や事例検討会を定期開催していきます。 ・必ずではありませんが問題があれば職員間で共有しています。 ・支援終了後には難しくても、次の日には振り返りを行うように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・担当制ではありますが、事業所に通っていただいている利用者の情報を、職員全員で確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年に1度見直しを行っています。	

適切な支援の提供

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・自立支援や余暇活動等の居場所作りを行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・視覚提示で選べるようにするなど、子ども一人ひとりにあった配慮を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者もしくは担当者が参加しています。 ・現状関係機関との定期的な連携の体制は整備できていない為、今後連携できる体制作りを整えていけるように努めます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・関係機関連携加算や保育所等訪問支援等で実施しています。 ・現状関係機関との定期的な連携の体制は整備できていない為、今後連携できる体制作りを整えていけるように努めます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	・学校との情報共有は一部の利用児のみになっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	・情報共有などはされていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	・提供したことはありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	・地域の機関との交流は少ないです。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・外部支援、キャンプ療育、会社イベント、作業療法士協会主催のイベントにて地域の他の子どもとの交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	・機会があれば参加していく予定です。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・フィードバックの時等の短時間で相談できない時は、面談の実施をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・必ず支援後にフィードバックを行い、保護者に支援内容を伝えたり、情報の共有を行っています。 ・ペアレントトレーニングは実施していません。家族が参加できる研修会を実施していますが頻度はかなり少ない為、ご家族のニーズも把握した上で来年度は定期的な開催を企画していきます。	・長期休暇中の勉強会や茶話会の実施を検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に伝えていますが、内容が変わり次第伝え直しをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・聞き取りや相談を行う事で意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・保護者には支援内容の説明を支援終了後に行っています。 ・サービス計画書作成後には保護者に説明をし、サービス内容の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・子育てサポート支援加算や、家族支援加算等を使用して相談に対応していますが、定期的ではありません。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・保護者だけでなく、子どもにもアンケートを実施して意見を募り希望・要望に沿った支援を提供できるように努めています。 ・支援の待ち時間は保護者室があるため、保護者の交流は可能です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・周知はしていません。 ・申し入れがあれば迅速に対応して話し合いを行い、全職員で共有できるようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・インスタグラムへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵のかかる場所で保存しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・会社イベントでは実施していますが、事業所の行事では実施できていません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・招待していません。 ・法人としては行っていますが、事業所としての対応はしていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画を立てて訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・服薬の状況は確認していません。 ・把握できるよう発達記録の記入をお願いし、一覧表にまとめています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食物を扱うイベント療育の際は必ず児童全員のアレルギーを確認し、必要な対応を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・避難訓練を実施し、緊急事態の際の対応や各スタッフの動き、子どもの安全確保、避難経路等を確認しており、実施後は避難の流れと経路を視覚化・掲示し児童にも示しています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	・契約時に説明するようになっています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットが起こった時に協議をし、再発防止できるようにしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・毎日ミーティングの際に身体拘束の有無について参加スタッフ全員で確認を行っており、あった場合には必ず要因と今後の対応方法についても検討を行っています。	